



NME News

Nutritional Management
Expert News

栄養経営士のための情報紙

2024
10月号

●発行
一般社団法人
日本栄養経営実践協会(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作
株式会社日本医療企画

お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

令和6年能登半島地震 支援報告

能登半島地震から1年を前に 被災地での食支援の実際と 心構えを知ろう

令和6年1月1日に起きた能登半島地震では、発生直後から全国の医療関係者が支援に入り、現地で活動を行った。当協会の田中智美理事も北海道栄養士会からの要請で現地支援に入った一人である。そのときの様子や、支援する際の注意点、災害に対する心構えなどを田中理事にうかがった。

災害支援リーダー資格
を取得し支援チームに

私が支援に行ったのは、震災から2か月経った3月頭です。5日間の日程で、穴水町を中心に回りました。雪が残る中、まだ道路は陥没や障害であちこち分断しており、倒壊した家もそのままでした。私たちの宿も、壁が壊れてブルーシートがかけられており、鍵も何もない状態でした。

支援には、北海道栄養士会からの要請で参加しました。私は2011年の東日本大震災

病院管理栄養士ならではの視点で避難者の健康状態をチェック

現地での移動は常に車、朝は宿泊地である七尾市から約1時間かけて、拠点となっている保健センターに向かいました。そこで



被災地である七尾市から約1時間かけて、拠点となっている保健センターに向かいました。そこで



宿の壁はなくブルーシートがかけられていた



震災から2か月後もつぶれたままの家屋

その日のスケジュールを確認し、3人1組で避難所を回りました。通常は同じ県から派遣された3人でチームを組むのですが、北海道からは私1人だったため、広島市と広島県から来た行政の管理栄養士とチームを組み、雪道に慣れている私が運転を担当しました。

避難所の人数は、大規模だと100人近く、小規模だと10人前後とかなり幅がありました。「住んでいるところから離れたくない」という高齢者が多く、近所の公民館等が避難所になっていたことも関係していたようです。そのため、点在する避難所の食支援を地域の栄養士だけで対応するのは困難な状況でした。



賞味期限を確認し古いものから消費するよう整理することも



亀裂や陥没、隆起が激しい穴水町保健センター周囲の歩道

ついて話を聞き、必要に応じてアセスメントも行いました。見た目で健康状態が悪そうな人には詳しく話を聞き、緊急性が高い人は保健師に連絡して受診につなげました。高齢者で誤嚥に注意が必要な人には、提供時のとろみの付け方の指導も行いました。

日頃、病院で患者さんを見慣れている管理栄養士だからこそ気づけた体調不良もありました。老健など介護施設の管理栄養士さんであれば、高齢者についてもっと見る目があるはずです。支援時には、そうした勤務先の違いによる得手不得手についても考慮すると良いかもしれません。

2024年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを經由スマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904



保健センターで一緒になった
富山歯科医師会のみなさんと

山積み支援品を使い
その場で炊き出し

避難所での食生活は炭水化物が高塩分なものが多く、高血圧・高血糖の人には食べ方を教えたり、カップ麺の汁まで飲まないように汁の捨て場をつくったりしました。

ある避難所では支援品が山積みとなっており、お好み焼き・たこ焼きの粉、野菜パウダー、冷凍庫を占領するアイス、干し柿に生のリーフレタスなど「どうやって食べればいいのかわからないもの」が大量にある「状態で、逆に困っていました。

その日はちょうど難祭りでしたが「炊き出しもないので今日もカップ麺です」と館長さんがおっしゃっていたので、それならと急遽炊き出しを行うことになりました。



支援品をうまく使っておやつづくりに奮闘した



実際に提供したたこ焼き風おやつ

手配できたので、同じく大量にあった魚肉ソーセージを使って、野菜パウダー入りのたこ焼き風おやつをつくって配りました。アレルギー表示も行い、

魚介アレルギーの子どもには具を抜いたものをつくりました。「避難所では何も安心して食べさせられなかった」と、その子の母親にとっても喜ばれました。

レタスはシチューの具やサラダとして活用し、干し柿はコンポートにしてアイスを沿えたデザートもつくりました。本来の行事食で

はありませんが、少しでも特別さを感じてくれたらなと思い、みんなががんばりました。

被災地に見る食支援で
重要な口腔ケアの状況

避難所を回る中で、多くの高齢者から聞かれたのが、支援品の食料が硬くて食べられないという問題です。実際にレトルトパックのご飯を提供している現場に立ち会いました

が、手をつけずにいる高齢者の方々もいました。「ご飯は食べたいけど硬くてね」「避難するときに入れ歯忘れてきちゃってね」「最近痩せちゃって入れ歯が合わなくて痛いんだ」そんな声をいくつも耳にしました。レトルトご飯は、あらかじめ大さじ1杯程度のお水を加えてから長めに温めると、軟飯になります。そのご飯をおいしそうに召し上がってくれた姿は今も忘れられません。

拠点の保健センターでは、富山県の歯科医師会の皆さんにお会いしました。少しの時間でしたが情報交換をさ

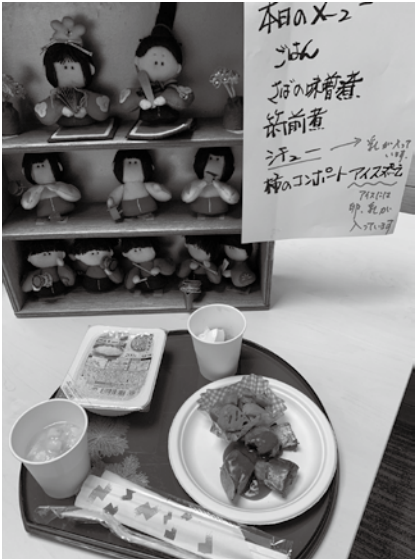
せていただき、食支援を行うには歯科の力が不可欠であることを実感しました。震災から月日が経つと、どうしても支援が目玉されにくくなります。しかし、ライフラインが復旧した後、食支援や口腔ケアは必要であり、長期的に支援する必要がありますと感じました。

支援の際はタイミング
をしっかりと見極めて

被災地に支援に入る際、とくに気を付けなければならぬことがあります。それは「してあげたい、という気持ちだけで行動しては、相手を苦しめてしまうことがある」ということです。

たとえば、会話を盛り上げようと家族の話をして家族を亡くしているかもしれないし、喜ばせようと希望的観測で話をすると、ダメだったときの失望感がとても大きくなってしまいます。良かれと思ってやった行為が、被災者の気持ちを大きく傷つけてしまうのです。

重要なのは「被災者



アレルギー表示もつけた3月3日の昼ごはん

がして欲しいことを、して欲しいタイミングで行うことです。被災地の支援では、相手がどういう状況なのか、何を求めているのかをしっかりと見極めてから、必要な支援を行うようにしてください。



参考にした徳島県作成の「災害時食支援ブック」

有事に何ができるか、
自分の強みを知ろう

もう一つ、皆さんに伝えたいのは「決して、他人事ではない」ということです。

災害は、どこにでも、誰にでも、起こり得るものです。私は北海道

誰しも、支援に行く側、受ける側、どちらの可能性もあります。「食支援のプロ」として、もしものときに自分には何が求められるのか、何が強みなのかを、ぜひ考えてみてください。

胆振東部地震で被災しましたが、それまで震災に遭うとは思っていませんでした。今回能登の支援に参加し、震災を支援する側と支援を受ける側のコミュニケーションの重要性を感じました。行政、医療、福祉等の管理栄養士同士の横の連携も、しっかりと考えていく必要があります。

電子書籍版

Amazon
Kindleで
好評発売中!

詳しくはこちら



術後回復を促進させる
周術期実践マニュアル

患者さんにDREAMを提供できる
周術期管理チームを目指して

ERAS プロトコル
2018年、2019年改訂版対応済み!

術後回復促進策として、本書ではERASプロトコルを中心に、栄養、リハビリ、ペインコントロールなど、周術期管理について詳しく説明。内容も術前・術中・術後と時系列に沿って体系的に紹介することで、実践しやすいよう工夫されています。また、巻末付録には済生会横浜市東部病院患者支援センターの周術期管理チーム(TOPS)で活用されている「私のかいふく日記」も掲載、周術期管理にすぐに役立つ1冊です!

編著 谷口英喜
済生会横浜市東部病院
患者支援センター長兼栄養部部長
価格: 3,080円
(本体価格2,800円+税10% 280円)
ページ数: 282
発行: 株式会社日本医療企画

徳島県作成の
「災害時食支援ブック」は
ダウンロードが可能です。
ぜひ参考にしてください。



日本栄養経営実践協会推薦図書

術後回復を促進させる
周術期
実践マニュアル

患者さんにDREAMを提供できる
周術期管理チームをめざして

JMP

★新会員サービス「オンラインサロン」 大好評開催中！

スタッフの私語や陰口は暇だから？ 業務内容や勤務場所を見直してみよう

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第38回は9月26日(木) 18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、吉田貞夫副代表理事、田中智美理事、山下茂子理事が出席し、参加者からの質問に対しみんなで意見を出し合いました。

この日、理事の先生方への最後の質問となったのは「スタッフのモラル教育・指導について」。私語が多く、陰口や悪口もよく話していると報告があったスタッフについて、本人に注意をしても「業務に必要な内容で私語ではない」と認めず態度が改まらないとのことで、どうすればよいのかほとほと困ってサロンに相談されました。

最初に回答した田中理事は「他人が気になるくらい私語が多いということは、暇を持て余しているのかも？ 業務内容を見直して、人のことが気にならなくなるくらい業務に集中してもらっては」と提案しました。また「経験上、こういった問題は双方のコミュニケーションエラーであることが圧倒的に多い。エラーの元を紐解くと、勘違いだったり思い違いだったりすることがある。それぞれに話を聞き、人ではなく、起きている事象にフォーカスを当て、それを解決する方向に部署全体を誘導してはどうか」と意見を述べました。

次に回答した山下理事は「私語が多いというその人には、周りから評価されないと意味がないということを理解してもらう必要があると思う。振る舞いや考え方、自分に対する評価、働くことの意味などを考えてもらってはどうか。また、忙しくしていれば悪口を話す暇もないから、業務内容を見直すのは良いと思う」と伝え、「私は『昼休みはみんなで食べよう』という考え方でやってきた。これは、お互いを理解することが目的で、できるだけ一緒に何かをする時間をつくるのが大事だと思っている。コミュニケーションを取ることによって、お互いの良いところを見つけ

られるような体制が取れると良いと思う」と質問者にアドバイスしました。

真壁理事は「私語や、私語に誤解されるような話をしていることは、本人に注意しないとわかってもらえない。こうした人は部署に一人二人いたりするが、自分を認めて欲しいという欲求のあらわれなんだろうと思っている。新しい仕事を与えたり、何かプレゼンする機会を与えたりしてみても」と話し、「一番大事なのは、所属長がビジョンやコンセプトを明確にして、個々の役割をはっきりさせて仕事の配分を明確化、仕事の見える化をすること」と質問者に伝えました。さらに「スタッフ同士の距離を物理的に離すことはできないか。自分は、そういった問題が発生したときに、仕事をすべて病棟で行うように変え、栄養科の事務所にいないようにした」と自身が過去にとった対応を紹介しました。

宮澤代表理事は、基本的には他の理事と同じ意見だと話し、「当院でも似たようなケースがあった。それでスタッフが1週間休むことにまでなり、それを機にいろいろな話が出た。内容としては些細なコミュニケーションエラーが多く『こんなことでみんなが右往左往しているのか』と情けなくなり、全体ミーティングでスタッフ全員を叱責した。業務に集中できていないから余計なことを考えてしまうので、目の前の患者さんに集中しろ、と普段よりきつめに叱った」と自院での経験を語りました。その後、「個々のスタッフへの面談も必要で、面談中は傾聴する姿勢にすると良い。そうすることでその人の思いや希望が聞け、それに対してどうすれば良いかアドバイスができる」と助言しました。

途中、質問者から「スタッフに注意をするときは個別に話をしているが、問題のスタッフからは『いつも文句の対象になっている』スタッフのことをみんなの前で叱って欲しい」という要望が出ている。全員の前で叱ることはできないと伝えてあるが、それで正しいだろうか」という追加の質問があり、これに対し

ては真壁理事・宮澤代表理事ともに「それで問題はない。みんなの前で褒めることはするが、叱ることはしない」と回答しました。宮澤代表理事は「注意は個別、褒めるのはみんなの前というのはマネージャという立場なら常識。みんなの前で叱れという要望は社会人としてのモラルがない」と一刀両断しました。

反りが合う・合わない、考え方が違うなどは、複数人が同じ場所にいる以上、どうしても起こり得ることです。それにどう対応するかは難しいところではありますが、単なる話し合いではなく、業務内容や物理的な距離を見直すことで沈静化を図るのも手かもしれません。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼9月26日(木)の話題

- ・「特別な栄養管理の必要性」の基準はどう決める？
- ・術前の経口摂取を見直したい
- ・勉強会の発表者を持ち回りでやりたいけれどやりたがらない…どうすればいい？
- ・スタッフのモラル教育・指導について悩んでいます
- ・推薦図書に何があるか教えて(事務局対応)

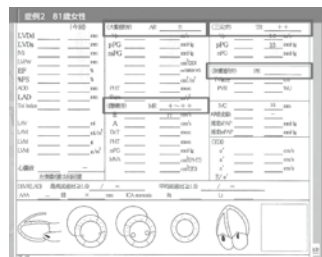
■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時：1月下旬 18:30～20:00
- ◇参加対象：栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇参加費：無料
- ◇開催形式：オンライン配信(Zoom)
- ※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が見えるパソコン・タブレット等をご用意ください
- ※後日、アーカイブ配信もあります
- ※個別の症例の相談にはお答えできません

日本ヘルスケア経営学院WEB講座 随時受講受付中！

栄養経営特別セミナー 症例検討 【公開講座】WEBセミナー

「チーム医療に参画する為に知っておきたい知識」



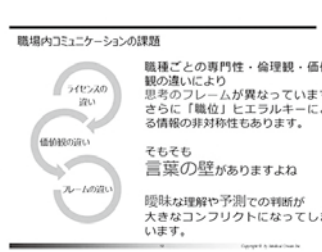
講義内容

- ① Evidenceで見る(診る) 栄養サポートの重要性(26:35)
- ② 症例1:78歳女性の場合(36:33)
- ③ 症例2:81歳女性の場合(36:40)

- 講師 宮澤靖／一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事、東京医科大学病院 栄養管理科 科長
- 講義時間 約100分(全3動画)
- 受講料 4,400円(税込)
- 受講期間 14日間

ハラスメントが起こる仕組みと起こさせない対処法を知り、对患者・職員間のトラブルをなくす！

医療現場のコミュニケーション&ハラスメント対応スキルアップ研修



講義内容

- ① ブランディングの鏡
- ② 医療現場のトラブル対応
- ③ 医療現場のハラスメントの仕組みと対処法
- ④ コミュニケーションスタイルを知ろう
- ⑤ コミュニケーションスキルアップ

- 講師 石井 富美／株式会社メディカルクリエイティブ・多摩大学大学院客員教授
- 講義時間 約50分(8～10分×5動画)
- 受講料 4,400円(税込)
- 受講期間 20日間

宮澤 靖

日本栄養経営実践協会代表理事



栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いができればと思っています。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。

視聴方法 パソコン、タブレット、スマートフォン
※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください

お申込みおよび詳細 <https://hcmi-s.net/weblesson-hcm/>

お問い合わせ先

日本ヘルスケア経営学院 事務局
(株式会社日本医療企画内)

TEL : 03-3553-2862

Mail : healthcare-mgt@jmp.co.jp



栄養経営士が知っておきたい!

イベント
情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策等で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

セミナー情報

食育健康サミット2024

健康寿命延伸に向けたアプローチ

～高齢期をいきいきと過ごすための食事と運動～

「食育健康サミット」は医師、管理栄養士・栄養士等を対象に毎年開催されているもので、今年は「健康寿命延伸に向けたアプローチ～高齢期をいきいきと過ごすための食事と運動～」をテーマに、フレイルやサルコペニアの予防とその背後にある「低栄養」の問題等に焦点を当て、健康寿命を延ばすための指導・普及支援等を医学的・栄養学的に考察します。

○日 程：2024年12月4日(水)～2025年2月28日(金)

○講 師：辻 一郎氏(東北大学 名誉教授／東北大学大学院 医学系研究科 客員教授)

○形 式：オンライン(オンデマンド配信)

○参加費：無料

○主 催：公益社団法人日本医師会、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

○お問い合わせ：名古屋大学大学院医学系研究科
国際保健医療学・公衆衛生学
Mail:intnl-h@med.nagoya-u.ac.jp

学会情報

日本糖尿病学会

第59回 糖尿病学の進歩

初の沖縄開催で「100年のライフコースを俯瞰する糖尿病診療」をテーマに、ライフステージに応じた木目細やかな糖尿病診療や予防の在り方、目覚ましい進歩が続いている治療薬やテクノロジーの活用について、講演、発表、意見交換等が行われます。

○日 程：2025年(令和7年)1月24日(金)・25(土)

○世 話 人：益崎裕章(琉球大学大学院 医学研究科
内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座)

○参加費：～12/23 17時:13,000円 それ以降:15,000円

○会 場：那覇文化芸術劇場なはーと
(沖縄県那覇市久茂地3-26-27)ほか○お問い合わせ：アンプロデュース株式会社
E-mail:info@59shinpo.com

セミナー情報

カーボカウント&
先進デバイス活用WEBセミナー

糖尿病患者のための「カーボカウント」は炭水化物量に注目したインスリン量調節法です。今回は「CGM やインスリンポンプを使いこなしたい方向け」の、糖尿病専門医を講師とした、カーボカウントや先進デバイスの活用について学べるWEBセミナーです。

○日 程：2025年1月11日(土)14:00～16:10

○講 師：前田泰孝氏(南昌江内科クリニック／医師)
川述里美氏(南昌江内科クリニック／看護師)

○参加費：患者・家族以外:3,300円 患者・家族:2,200円

○形 式：Zoomウェビナー(完全オンライン)
※ライブ配信+オンデマンド(2週間)あり○お問い合わせ：認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク
E-mail:event@japan-idm.net

協会事務局より

2024年12月期限の会員の皆様へ

【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内をメールでお送りしております。期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ対応しております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※用紙での手続きを希望される方は、事務局までご連絡ください。

○年度会費：有効期限が2023年12月20日～2024年12月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円○資格更新：会員資格が2021年12月20日～2024年12月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。

【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)

○お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!

☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

〔こんな方におすすめ〕

- ・会場で受講したが、内容を復習したい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1: 90分、DISC 2: 73分)

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3: 約30分)

観てわかる! 近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

■講 師：宮澤 靖 代表理事ほか

■受講料：8,500円(税込) 会員価格:3,850円(税込)